

教頭会会報

宮崎県公立小中学校教頭会

第144号 2023

令和5年7月31日発行



〈 表 紙 〉

【写真左上】 西臼杵支部「日之影町役場のつつじ(日之影町)」

つつじは、日之影町の花であり、開花期には、山や溪谷の景観を誇る本町に、いちはやく季節を告げてくれます。写真は、本町役場に咲き誇る、春のときのものです。やすらぎと活力を与えてくれる花です。

【写真右上】 東臼杵支会「師走祭りのやぐら作り(美郷町立美郷南学園)」

「師走祭り」は、百済王伝説をもとに、美郷町南郷の神門神社と木城町の比木神社にまつられている禎嘉王と福智王親子の御神体の対面を再現する祭りです。毎年、1月下旬に3日間にわたって行われます。「師走祭り」の見どころの一つが迎え火です。24基ほどのやぐらに迎え火が点けられ、炎が高く舞い上がる中、2つの神社の御神体とともに御神幸行列が練り歩きます。その光景は、大変幻想的です。美郷南学園では、このやぐら作りを子どもたちと保護者で作ります。1300年以上前の伝説が今も受け継がれています。

【写真左下】 日向支会「若山牧水生家」

道の駅「とうごう」から国道446号線を西に7kmほど進むと、生涯にわたり人と自然を愛し続け、純粹な心で歌を詠み、今もなお多くの人々に愛される国民的歌人、若山牧水の生家があります。昭和41年に県史跡文化財に指定された生家は、たびたび修復が施されていますが、いろりや牧水が生まれた縁側など、牧水が少年時代を過ごした佇まいが多く残っています。

【写真右下】 延岡支会「延岡市五ヶ瀬川堤防『延岡花物語～風車プロジェクト～』」

延岡市五ヶ瀬川堤防では毎年、『延岡花物語』が開催されています。令和5年度は、「平和」と「幸せ」のサイクルを風車に見立て、メッセージ欄に「延岡ならではの幸せとは何か？こんな延岡ならば、幸せだと思う。」を書き、中学生ボランティアや市民ボランティアによる風車アート作成・設置が行われています。機会がありましたら、是非足を運んでみてください。

あ い さ つ

宮崎県公立小中学校教頭会

会長 小出水 公宏

連日きびしい暑さが続いておりますが、教頭先生方におかれましては、学校運営の要として、日々、多用な中、児童生徒の健全育成に向けて尽力されていることと存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類となり、社会全体がコロナ禍以前の状況に戻りつつあります。学校においても、様々なことが中止や縮小を余儀なくされていたここ数年の状況から、児童生徒が日々の学習や行事等に生き生きと取り組んでいる姿を多く見られるようになってきていることを大変嬉しく思います。

学校運営に目を向けてみると、教員不足の話題が多く聞かれ、学校を運営するうえで、厳しい状況を抱えている学校が少なくないと実感しています。更には、働き方改革やGIGAスクール構想、コミュニティ・スクール等の取組が行われるようになり、学校運営における教頭の役割もここ数年において、大きく変わったと感じているところです。

そのような変革の時代の中、県教頭会としましては、「よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていくために、自らの個性を發揮し、自信をもって未来を切り拓く力」や「様々な困難な課題に、考え、判断し、積極的に対応する力」を育むこと、また、「子供たちが安心して教育を受け、自らの力を發揮できることはもちろん、保護者や地域住民にも信頼され、魅力ある、地域とともにある学校」をつくっていくことを目指して、全国公立学校教頭会より第13期(令和5・6・7年度)全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」が提示されました。その初年度として、既に県内11の各支会において様々な取組や研究がスタートしております。また、先日、沖縄県において「九州地区公立学校教頭会 第1回各県代表者会・総会」が行われ、九州各県の取組や本年度開催の九州大会沖縄大会の実施に向けての協議・確認を行いました。その際、次年度開催県として宮崎大会の案内を行い、たくさんの教頭先生方の参加を呼び掛けたところです。今後、8月3・4日には全国公立学校研究大会石川大会が、8月17・18日には九州大会沖縄大会が開催される予定となっており、本県からも発表や分科会への参加をしていただく予定となっております。全国や九州の教頭先生方の取組に触れ、学校運営における教頭の役割について情報や意見を交わし学んだことを、今後、県内の教頭先生方と共有することで、業務改善や学校運営の更なる充実に繋げていきたいと考えているところです。

結びになりますが、令和6年8月、本県で開催されます九州大会宮崎大会に向けて実行委員会を立ち上げ、準備が始まっております。九州各県の教頭先生方を宮崎に迎え、先に挙げた全国統一研究主題の実現に向けて、積極的に協議を行い、充実した大会にするために宮崎県公立小中学校教頭会の会員の皆様の御協力をお願いいたします。また、本会報誌に御寄稿いただきました各会員の皆様、並びに編集に携わっていただいた皆様に感謝申し上げますとともに、会員の皆様の御健勝とますますのご活躍を祈念いたします。

支会だより

延岡支会

1 構成

本支会は、延岡市内の小・中・義務教育学校42校（小学校26、中学校15、義務教育学校1）の教頭で構成されている。

2 支会役員

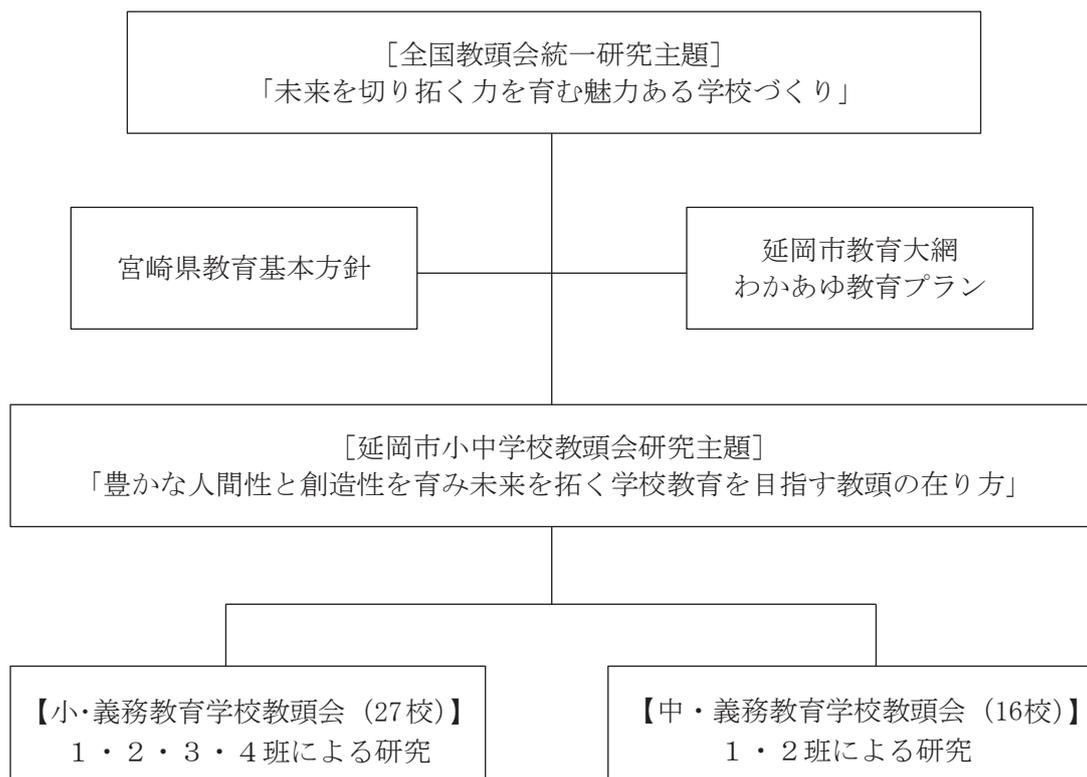
| 役 職 | 氏 名 | 学 校 名 |
|-------------|---------|-----------|
| 会 長 | 松 浦 俊 二 | 恒 富 中 学 校 |
| 副 会 長 | 小 野 秀 俊 | 延 岡 中 学 校 |
| 副 会 長 | 田 崎 智 章 | 東 海 小 学 校 |
| 総 務 | 石 田 俊 司 | 恒 富 中 学 校 |
| 会 計 | 須 見 かおる | 西 階 中 学 校 |
| 研 究 部 長 | 田 中 秀 樹 | 延 岡 小 学 校 |
| 法 制 調 査 部 長 | 田 邊 ひとみ | 緑ヶ丘小 学 校 |
| 広 報 部 長 | 井 戸 恒 和 | 岡 富 中 学 校 |

3 研究の概要

(1) 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育を目指す教頭の在り方」

(2) 研究の構想



4 研究課題（令和5年度以降）

(1) 小・義務教育学校

| 班 | 分科会 | 研究課題 | 発表 |
|----|-----|--------------|-------------|
| 1班 | 第2 | 子どもの発達に関する課題 | 九州大会提言（R6） |
| 2班 | 第1A | 教育課程に関する課題 | 県大会紙上発表（R6） |
| 3班 | 第2 | 子どもの発達に関する課題 | 県大会紙上発表（R8） |
| 4班 | 第3 | 教育環境整備に関する課題 | 県大会提言（R8） |

(2) 中学校

| 班 | 分科会 | 研究課題 | 発表 |
|----|-----|---------------|-------------|
| 1班 | 第4 | 組織・運営に関する課題 | 県大会紙上発表（R5） |
| | 第4 | 組織・運営に関する課題 | 県大会紙上発表（R7） |
| 2班 | 第5A | 教職員の専門性に関する課題 | 県大会紙上発表（R5） |
| | 第5A | 教職員の専門性に関する課題 | 県大会提言（R7） |

5 主な事業予定（令和5年度）

| 月 | 研修内容等 |
|----|---|
| 5 | ○小・中合同研修会（延岡市教育長講話・役員組織編成） ○小・中別研修会（研究内容等確認） |
| 6 | ○第2回中学校研修会（全体研修・班別研修） |
| 7 | ○第2回小学校研修会（全体研修・班別研修） ○第3回中学校研修会（全体研修・班別研修） ○法制部主催小中教頭会夏季特別研修（北部教育事務所長講話） |
| 8 | ○全国公立学校教頭会研究大会 ○九州地区公立学校教頭会研究大会 |
| 9 | ○第3回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第4回中学校研修会（全体研修・班別研修） |
| 10 | ○第4回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第5回中学校研修会（全体研修・班別研修） |
| 11 | ○第5回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第6回中学校研修会（全体研修・班別研修） |
| 12 | |
| 1 | ○第6回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第7回中学校研修会（全体研修・班別研修） |
| 2 | ○小・中合同研修会（課題研究のまとめ、情報交換等） |

支会だより

西臼杵支会

1 構成

本支会は、高千穂町（小学校5校、中学校2校）日之影町（小学校3校、中学校1校）五ヶ瀬町（小学校4校、中学校1校）の教頭で構成されている。

2 支会役員

| 役 職 | 氏 名 | 学 校 名 |
|-------------|-----------|-------------|
| 会 長 | 伊 集 院 忠 親 | 五ヶ瀬町立坂本小学校 |
| 副 会 長 | 田 中 匡 浩 | 日之影町立宮水小学校 |
| 副 会 長 | 安 在 義 晴 | 高千穂町立高千穂小学校 |
| 総 務 | 原 田 育 夫 | 五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校 |
| 会 計 | 坂 本 香 奈 子 | 五ヶ瀬町立三ヶ所小学校 |
| 研 究 部 長 | 宮 本 英 一 郎 | 高千穂町立岩戸小学校 |
| 法 制 調 査 部 長 | 黒 木 麻 矢 | 五ヶ瀬町立上組小学校 |
| 広 報 部 長 | 濱 砂 俊 洋 | 日之影町立日之影中学校 |

3 研究の内容

(1) 研究の目標

- ① 各町の教育理念に基づく学校教育の実現
「ふるさと教育」をはじめ、小規模校ならではの特色ある教育の実現を目指す。
- ② 教頭としての力量の向上
幅広い視野に立って、学校運営が行われるように、学校教育に関する識見を高める。

(2) 研究の方針

- ① 学校教育の課題の究明
- ② 教頭としての資質向上
- ③ 各町の組織的・継続的な研究と研究成果の活用
- ④ 県教頭会に関する課題内容の研究

(3) 研究の方向

- ① 各学校におけるコミュニティー・スクール（学校運営協議会）を通じて明らかになった課題について究明し、地域・保護者の信頼に応えられる、地域とともにある学校をめざす。
- ② 各町（各学校）における工夫した取組について情報交換を行うとともに、各学校において教頭としてどのように関わっていくべきか、協議を深めることで、資質の向上に努める。
- ③ 県教頭会の発表（令和5年度・令和6年度九州大会）に向けて、諸調査結果の分析や臨時的な研究会の実施等、各町及び本支会において組織的な研究により、発表への準備を進めるとともに研究内容の共有化も行い、各学校での取り組みに活かすようにする。
- ④ ①～③についてまとめ年度末に報告会を実施する。

(4) 郡教頭会総会及び研修会

| | | | | |
|-----------------|-----|--|-----|------------------------|
| 第1回 研修会並びに総会 | 期 日 | 令和5年5月25日(木) | | |
| | 会 場 | 高千穂町中央公民館 | | |
| | 内 容 | 第1回研修会 | 講 師 | 日之影町教育委員会 橋本 範憲 教育長 |
| 総 会 | | 令和4年度 事業・会計・監査報告、令和5年度役員 改選・事業計画案・予算案審議、情報交換等 | | |
| 第2回研修会 | 期 日 | 令和5年11月17日(金) | | |
| | 会 場 | 高千穂町中央公民館 | | |
| | 講 師 | 高千穂町教育委員会 教育長 | | |

(5) 役員会及び県・九州・全国教頭会参加計画

| 月 | 日 | 曜 | 事業名 | 研修内容など |
|-------|----|---|---------------|------------------------------------|
| 5 | 9 | 火 | 郡教頭会役員会 | 総会・研修に向けての準備及び確認 |
| 6 | 9 | 金 | 県教頭会 第1回研究部長会 | 県教頭会理事、支会各専門部会(研究部) |
| 8 | 3 | 木 | 全国研究大会(石川) | 高千穂町1名参加、 オンラインで日之影町1名、五ヶ瀬町1名参加 |
| 8 | 17 | 木 | 九州地区研究大会(沖縄) | 五ヶ瀬町1名参加 |
| 10 | 20 | 金 | 郡教頭会役員会 | 第2回研修会に向けての準備・打ち合わせ |
| 11 | 10 | 金 | 県教頭会研究大会(予定) | 役員参加 |
| 11 | 17 | 金 | 郡教頭会第2回研修会 | 講話(予定)及び各町研究経過報告 |
| 1月～2月 | | | 各町研究のまとめ | 各町での取組まとめと次年度に向けての確認 |
| 3 | 13 | 月 | 郡教頭会役員会 | 今年度の反省、次年度に向けての引継・確認 |

(6) 各町教頭研修会

- ① 本年度の町別の定期的な研修会については、五ヶ瀬町では毎月、高千穂町では年間6回、日之影町では年間6回、各町において年間計画に基づいて予定している。また、教育長や指導主事に出席を依頼している。
- ② 各学校において、コンプライアンス研修を夏季・冬季休業中の研修として実施している。

4 その他の研修(教頭会が中心に郡内の教職員に進める研修)

(1) 目的

学校経営についての理論と運営の実際を研究し、学校における正常な運営能力を高めることを目的とする。

(2) 研修計画

| 期 日 | 内 容 |
|--------------|--|
| 令和5年7月3日(月) | 講話1「働き方改革やGIGAスクール構想について」 講 師 五ヶ瀬町校長会 宮本 一郎 校長(鞍岡小学校) |
| 令和5年7月11日(火) | 講話2「教育法規を中心とした管理職試験対策」 講 師 日之影町校長会 藤田 雅元 校長(日之影中学校) |

5 その他

各学校で県教育委員会の重点取組を全職員に周知する。教頭会において児童生徒の実態や各校の工夫した取組について情報交換・共通理解を図り、学校の管理・運営に活かす。教頭としてのリーダーシップを発揮し、「いのちを大切に教育」の推進に力を入れ、定期的な教育相談と「SOSの出し方に関する学習」や「いのちの教育週間」の設定をしながら全職員で取り組めるようにする。

支会だより

東臼杵支会

1 構成

本支会は、東臼杵内（小学校11、中学校4、義務教育学校2）の4町村19名の教頭により構成されている。

2 支会役員

| 役 職 | 氏 名 | 学 校 名 |
|-------------|-----------|-------------|
| 会 長 | 平 野 公 一 | 美郷北義務教育学校 |
| 副 会 長 | 小 島 琢 哉 | 草 川 小 学 校 |
| 副 会 長 | 柄 本 光 彦 | 諸 塚 中 学 校 |
| 副 会 長 | 松 本 陽 慈 朗 | 不 土 野 小 学 校 |
| 総 務 | 押 川 清 憲 | 西郷義務教育学校 |
| 会 計 | 河 野 清 香 | 西郷義務教育学校 |
| 研 究 部 長 | 興 梶 晋 | 美郷北義務教育学校 |
| 法 制 調 査 部 長 | 松 崎 和 美 | 美 郷 南 学 園 |
| 広 報 部 長 | 山 口 麻 衣 子 | 美 郷 南 学 園 |

3 研究概要

(1) 研究主題等

【研究テーマ】

学校の組織・運営に関する課題について

【研究主題】

学校の特色を生かした働き方改革の在り方

(2) 研究目標

- 学校の特色を生かし、教師が明るく元気に働ける学校環境をつくるための働き方改革の在り方について研究と実践を行う。
- 情報交換や研究を通して、教頭としての資質向上に努め、学校教育の充実と発展に寄与する。

4 研究内容

- ① 学校の組織・運営に関する課題解決を目指す研究と実践
- ② 学校運営上の諸問題に関わる情報交換及び協議

5 事業計画

| 期 日 | 研修会・役員会 | 内 容 |
|----------------------|---------------------------|----------------------------|
| 6月6日(月) | 第1回役員会(理事会) | オンラインで実施 事業計画案、各種連絡事項確認 |
| 7月～8月 | 各地区夏季研修会 | 各地区で計画・実施 |
| 8月3日(木) 8月4日(金) | 全国公立学校教頭会研究大会 | |
| 8月17日(木) 8月18日(金) | 九州地区公立学校教頭会研究大会 (沖縄大会) | |
| 12月 | 県教頭会研究大会 | 紙上発表 |
| 2月9日(金) | 全国教頭会中央研修大会 | |
| 3月12日(火) | 第2回役員会(理事会) | オンラインで実施 事業報告、各種連絡事項確認 |

支会だより

日向支会

1 構成

本支会は、小学校10校、中学校4校、小中一貫校3校、分校1校の計22名の副校長・教頭で構成されている。

2 支会役員

| 役 職 | 氏 名 | 学 校 名 |
|-------------|-----------|---------------|
| 会 長 | 甲 斐 賢 剛 | 日向市立塩見小学校 |
| 副会長（総務担当） | 橋 口 正 範 | 日向市立財光寺小学校 |
| 副会長（研修担当） | 土 谷 敬 子 | 日向市立美々津中学校 |
| 副会長（法制調査担当） | 黒 田 哲 郎 | 日向市立財光寺中学校 |
| 会 計（ 県 ） | 八 木 彩 香 | 日向市立日向中学校 |
| 会 計（ 市 ） | 山 口 賢 一 | 日向市立平岩小中学校小学部 |
| 研 究 部 長 | 濱 田 公 一 郎 | 日向市立寺迫小学校 |
| 広 報 部 長 | 小 野 真 嗣 | 日向市立東郷学園若竹分校 |

3 研究の概要

(1) 研究の目標

- 教頭としての資質向上を図り、学校運営の活性化に資する。

(2) 研究の方法

- 研究副題①班と②班に分かれ、学校管理や学校運営上の課題を究明し、教頭としての資質を高める研究を推進する。

| 本年度研究テーマ |
|--|
| 「教師の資質向上とライフプランの好循環による地域協働型教育体制の構築に関する研究」 副題① ～地域の未来を拓く児童生徒を育成する学校運営協議会のマネジメントを通して～ 副題② ～教職員が生き生きと業務を遂行できる働き方改革を通して～ |

(3) 研究の見通し

| | 1 学期 | 2 学期 | 3 学期 |
|----|-------------|------|------------|
| | 全体会、班別部会 | 班別部会 | 班別部会、全体会 |
| ①班 | 研究テーマ設定及び協議 | 研究実践 | まとめと次年度の計画 |
| ②班 | 研究テーマ設定及び協議 | 研究実践 | まとめと次年度の計画 |

4 令和5年度研修計画

| 月 | 研修会場 | 研修内容 |
|-----|--------------------------|----------------------------------|
| 4月 | 日向市役所 | 教育長講話 市教育委員会案件 全体研修会 班別研修会 |
| 5月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会 |
| 7月 | 細島公民館 (日向市立細島小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会 |
| 10月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会 |
| 11月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会 |
| 12月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会 |
| 1月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会 |
| 2月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 研究のまとめ 次年度の方向性 |
| 3月 | 日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校) | 全体研修会 市教育委員会案件 研究のまとめ 次年度の方向性 |

※ 研修会場については未定

5 その他の研修

【令和5年度日向市立小・中学校教頭会夏期研修会】

(1) 目的

- 自己啓発研修の一環として、教育の新しい動向等を知り、学校運営への参画意欲を高めるとともに教頭としての資質の向上を図る。

(2) 研修計画（会場：大王谷コミュニティセンター）

| 回 | 月日（曜） | 講師 | 内容 |
|-----|----------|-----------------------|-------------------------|
| 第1回 | 6月21日（水） | 富高小学校 四角目 浩行 校長 | 講義・演習 「教育の現状と課題（仮題）」 |
| 第2回 | 6月28日（水） | 富島中学校 横山 博章 校長 | 講義・演習 「教育の現状と課題（仮題）」 |
| 第3回 | 7月 5日（水） | 財光寺中学校 藤井 寛史 校長 | 講義・演習 「教育の現状と課題（仮題）」 |
| 第4回 | 7月12日（水） | 日向市教育委員会 今村 卓也 教育長 | 講義・演習 「教育の現状と課題（仮題）」 |

各支会新任副校長・教頭 随想

「感動とときめきの教育を目指して」

宮崎市立西池小学校 西本 真美

教頭として初めて西池小に赴任し、不安と緊張でスタートした4月。学級担任の仕事とは一変して、多岐にわたった業務をこなす日々。分からないことがたくさんある中で、文書の処理に追われながらも、児童や保護者対応、PTAや地域団体、関係機関等との対応など常に忙しい日々であり、どれも責任の重い事案ばかりである。まだ赴任して僅かな期間ではあるが、教頭職は、あらゆる資質・能力が必要とされることを実感するとともに、自分の未熟さを痛感する。これから、様々な経験を積み重ね、自分自身を高めていけるよう努力していきたい。

また、西池小は、児童数866名、職員数70名の大規模校であり、「感動とときめきの教育」を目指した学校経営に取り組んでいる。その具現化に向けて、少しでも貢献できるように尽力していきたい。

夢いっぱい 優しさいっぱい 力いっぱい 考える葦の子を育てる 西池小学校

「信 頼」

宮崎市立青島小学校 河野 友紀江

私が4月から教頭として職員室の椅子に座り、子ども達や先生方の声を聞き、保護者や地域の方々の対応をしながら常に意識していること。それが「職員、児童、保護者、そして地域から信頼される管理職になる」である。

- 職員に対しては、まず第一に働きやすい環境を作る。積極的な声掛けを行い、些細なことでも相談してもらえるような関係を築き、明るく軽やかな職員室を作っていく。そして一人一人の能力や適性が最大限に発揮できれば、素晴らしい学校になると思う。
- 保護者に対しては、迅速で誠意のある対応を行い、どんな状況でも逃げずに関わる覚悟をもって臨む。
- 地域に対しては、お互いがWin-Winの関係を築き、魅力あふれる地域を作る努力をしていく。

そして、私が生き生きと仕事をし「憧れられる」存在になることで、将来一人でも多くの先生が管理職を志望してくれたらとても嬉しい。

青島の空や海のようにあふれるエネルギーがあり、地域にとっても愛されている青島小学校です。

「懐かしい」

宮崎市立木花中学校 庭田 祐之

「懐かしい」というのが赴任してからの感想です。理由は8年前まで、学年主任・教務主任として勤務していた学校への異動だったからです。4月は慣れない仕事が多く、うまくいかないこともありましたが、以前お世話になった、保護者や地域の方々から温かい言葉や励ましの言葉をたくさんいただいたおかげで、なんとか4月を乗り越えることができました。今心掛けていることは、「〇〇先生、おはようございます」とか「〇〇さん、おはよう」のように、先生方や生徒の名前を言ってからあいさつや、言葉かけをするようにしています。286名の生徒すべての名前を早く覚えて、声掛けできるようになりたいと思っています。生徒会活動では、7つの委員会が目標達成すると咲く花びらがあります。10年前から続いている取組が今も続いていることがすばらしいと思います。生徒会の目標である「煌めく」ことのできる生徒を先生方と一緒に育てていきたいと思っています。

「煌めく」7つの花びら～SEVEN STAGE

「手探りの日々」

宮崎市立青島中学校 西村 広毅

3月の内示があった日から、4月1日に赴任するまでの「不安」はそれまでの異動時に感じたものと少し違いました。大学卒業後に初任者として赴任する時の気持ちに似ていたかもしれません。前任の教頭先生から引き継ぎは受けたものの、「果たして自分に務まるだろうか」という気持ちをもったままの赴任となりました。現在は「これでいのだろうか?」という思いをもちつつ、これまでの自分が赴任した学校の教頭先生の動きを思い出しながら、仕事を行っている状態です。「自分の動きはこれでいいですか?」と周りの先生方に聞くわけにもいかず、家へ帰る車の中で振り返りをする日々を過ごしています。ただ、少しずつ仕事にも慣れ、教頭職の面白さも感じ始めています。少なくとも、本校の若い先生方が「教頭にはなりたくないな」と思うのではなく、「教頭を目指すのもいいな」と思えるように、笑顔を絶やさず仕事をしていきたいです。

時代の波に乗り、困難な波をみんなで乗り越えようとする
気持ちをもった者が集う、アットホームな学校

「教頭とは」

国富町立木脇中学校 岩切 里栄子

先日の研修で『「教頭とは〇〇である」に当てはまる言葉は何だと思えますか?』と問われた。私が思いついた言葉は「コンシェルジュ」。映画「マスカレードナイト」で長澤まさみが演じた山岸のお客様からのどんな要求にも無理だと断ることなく最善のおもてなしを考える姿勢が教頭には求められると思っているからだ。

しかし実際にはこの2か月、慣れないことに追われ、周りの方に支えていただくことの方が圧倒的に多い毎日を過ごしてきた。私にできることは、皆さんへの感謝を心からの笑顔で伝えることぐらいである。

木脇中学校には素直で心優しい生徒・頼りになる先生がたばかりで、私が困っているときには声掛けや、手伝いを黙っていてもしてくれる。さらに、保護者や地域の方々の助けもあり様々な活動がスムーズにスタートできた。木脇中学校に赴任できたことを幸せに思う。だからこそ、生徒や先生方が安心して過ごせ、地域の人が気軽に集まれるような木脇中学校のコンシェルジュ山岸を目指したい。

ふるさとを大切に、夢を育む、地域とともにある木脇中学校

「朝のルーティンワーク」

日南市立細田小学校 三重野 一樹

朝、眠い目をこすりながら玄関を開け、警備を解除し、事務室や校長室、職員室の鍵を開ける。校長室にある出勤簿に向かいがてら児童玄関を開け、廊下の窓を開けてまわる。湯沸かしポットをセットし、新聞を開く。子どもに読んでほしい記事に印をつける。習字や作文など、子どもの作品の欄は特に注意が必要だ。パソコンを起動しメールをチェックしていると、校長先生が出勤してこられる。今日の予定や気になることを相談する。もちろん雑談もする。校長先生が校門に向かわれ、子どもたちの姿が見え始める。登校した子どもたちは、まず職員室に立ち寄る。どの子どもも笑顔で元気よく、そして礼儀正しく「おはようございます」とあいさつをしてくれる。こちらも自然と笑顔になる。生活も仕事内容も変わり、大変なことも多いが、子どもたちの笑顔や先生方の頑張りを毎日見ることができる。素晴らしい学校で、感謝、感謝の日々である。

学校は楽しいところ 子どもが行きたくなる 笑顔で過ごせる細田小

「かたがみタイムス」

日南市立潟上小学校 吉 富 千 賀

潟上小学校は、明治34年開校の歴史と伝統のある学校です。海と山に囲まれた自然豊かな環境で育つ全校児童59名は、学校生活を毎日明るく元気に過ごしています。地域の伝統的な行事の1つに「炭焼き」があります。「窯入れ」では、「イヌビワ」という木を切り炭にする体験を行います。他にも「様々な日用品や食べ物を入れ、炭にしたらどうなるか」を試しました。「窯出し」の時には、「イヌビワの木」のきれいな炭と実験した色々な炭を比べながら、歓声を上げたり、感想を言い合ったりする子どもたちの姿がとても印象的でした。昨年度まで、中学校教諭として勤務していた私にとって、発達段階の違う子どもたちの日々の様子は、とても新鮮で刺激を受けています。初めての「小学校勤務」と初めての「教頭」という役職に、まだまだ慣れませんが、まずは、保護者の方々や地域の方々との「繋がり」を大切に、「たのしい学校づくり」をしていきたいです。

かんがえる子 たくましい子 がんばりぬく子 みんななかのよい

「太陽のような存在に」

日南市立油津中学校 篠 原 秀 仁

本校に赴任してこの数か月を振り返ると怒涛の日々であったが、やりがいを感じる事ができた毎日でもあった。私が管理職を目指したのは、生徒指導に携わる中で、職員を守れる存在になりたいという気持ちが芽生えたからである。私自身守ってもらえるという安心感があったからこそ、全力で、多くの困難や課題に立ち向かい、乗り越えることができた。「教頭は職員室の担任」という校長先生からいただいた言葉を胸に刻み、職員が元気で、本気をだし、勇気をもって全力で教育活動を行うことができる環境や働きやすい職場をつくるため、教頭としての重責を果たしたい。

最後に、もう一つ忘れられない言葉がある。転勤する際に生徒や同僚から言われた言葉で、「先生は私達にとって太陽のような存在です。」という言葉。今の自分はとてもそんな存在とは言えないが、1日でも早く、生徒や職員にとって太陽のような存在になれるように日々精進していきたい。

★「元気」「本気」「勇気」！『今日が楽しく、明日が待たれる学校』の創造★

「管理職の魅力に気づく」

日南市立東郷中学校 岩 田 修 男

新任教頭として早いもので2か月が過ぎました。赴任してから今日まで右往左往しながら、提出物の締め切りに追われる日々。管理職という立場に立ってみて分かる大変さ、責任の重さに、これまでお世話になってきた管理職の先生方にあらためて感謝の気持ちと尊敬の念をいただきました。

私はこれまで、主幹教諭・教務主任・生徒指導主事・学年主任・学級担任等を努めさせていただきました。どの役割を担当させていただいたときにも、私を信じて任せてくださる管理職の先生方がいらっしゃいました。教頭の仕事は『信じる・任せる・見届ける』ことだと分かってきたような気がします。

思いを伝え、その後は先生方に託す。勇気のいることですが、この業務に魅力を感じてきました。本校の校長も、私を信じて、先生方を信じて任せてくださっています。そんな期待に応えられるよう日々笑顔で努めます。

今日が楽しく 明日が楽しみに待てる東郷小中学校

「出会いに感謝」

西都市立三納小中学校（小学部） 山 許 亜 紀

これまで考えたことがなかった教頭職につき、3か月が経ちました。前任の教頭先生の細やかな引き継ぎと中学部の教頭先生のおかげで、この3か月を乗り切ることができました。頼れる校長先生、新任教頭を温かく見守ってくださる先生方、保護者の皆様、そして元気をくれる子どもたち、この出会いに本当に感謝しています。

朝7時前、ランドセル背負った1年生が長い学校への道のりをてくてくと歩いている姿を見ながら、こんな子どもたちが「今日も学校、楽しかった」と思えるといいなと考えながら運転しています。そのために、先生方が笑顔でいられる職員室を目指していたのですが、すでに三納小中学校の職員室は「笑顔」であふれていました。先生方の心身の健康が子どもたちの「学校楽しい」につながると思いながら、目の前の仕事に取り組んでいる「見習い教頭」です。

“「学ぶこと」、「つながること」は喜び”を実感できる学校 三納小中学校

「まわりに支えられ」

高鍋町立高鍋西小学校 赤 崎 幸 一 郎

頼りになる校長先生や教務主任、先生方、楽しいPTA役員の皆さん等まわりの方々に支えられて1学期の終わりを迎えられそうです。健康に気を付けて、教頭として、まずこの1年間を乗り切ること为目标にしたいと思っています。

高鍋西小は、小丸川北岸と南岸とにわたる地域に32の地区があり、児童数は452人です。農業の多い地域であった土地柄も年々変容し、保護者の職業も多岐に、共働きや兼業家庭が増えています。「文教の町」高鍋を支えてきた伝統があり、教育環境の整備充実が努力されています。また、石井十次の生誕地で、十次の「人間愛」の教えが、本校の教育目標の基調になっています。

職員玄関には、十次の「為せよ 屈するなかれ 時重なればその事必ず成らん」ということばが飾られています。この言葉は児童福祉に生涯を捧げた石井十次先生のいかなる困難に直面しても、決して諦めず、目標に向かって、進んでいくという強い気持ちを表したものです。この言葉のように私もまずこの1年をがんばりたいと思っています。

高鍋西小学校 校訓 「信 愛 和」

「元気な学校を目指して」

都城市立沖水小学校 鍋 西 幸 治

3月に、沖水小学校の教頭と伝えられ、4月に意気揚々と出勤し始めた。ある程度、引継ぎは受けていたが、実際に新学期が始まると想像以上に、様々なことがあり目が回りそうであった。

「教頭先生、教頭先生。」と先生たちが質問にやってくる。3月までは、自分も質問する立場だったので、教頭はなかなか厳しい立場だと実感した。しかし、校長先生や教務主任、事務の先生方にアドバイスをもらったり、一緒に先生方と考えたりすることで、なんとか3ヶ月乗り切った。

沖水小学校は都城一の大規模校である。様々な問題が毎日のように起こり、その対応に追われることがほとんどであったが、校長先生を筆頭にチーム沖水で一致団結して対応に当たっている。沖水小学校の先生方はなかなかタフであり頼もしい。その先生方が、1日でも多く充実した日々を過ごし、子ども達も元気よく過ごすことができるように支えていくことが私の使命だと思っている。

高速道路の発展とともに、児童数がさらに増加傾向！？

「A Iには書けない、わたしの随想」

都城市立祝吉小学校 江内谷 義郎

…私が宮崎県都城市立祝吉小学校の新任教頭として着任し、日々の仕事に取り組んでいる中で感じる
ことがあります。それは、教育の旅は小さな一歩から始まるということです。教育現場では…。

上記は対話型A I (チャットG P T)が作成した文書です。これ以降も文章は続き、教育に関する用語
が的確に並び、整った文章が綴られていました。驚きとともに、思わず懂れてしまうほどです。

しかし、懂れるのをやめましょう。この文章には私が心から伝えたい内容までは書かれていません。
祝吉小は児童数860名の大規模校で教頭が二人体制であること、私はその先輩教頭(奈須利博教頭)か
ら日々貴重な教えをいただき深く感謝していること、風通しのよいあたたかい職員室をつくっていき
たいこと等々、A Iには書けなかったようです。A I活用のメリットは認めつつも、その人にしか書け
ない言葉や文章はずっと大切にしていきたいと思う、新任教頭の随想でした。

えがお輝く チーム祝吉！！

「豊かな自然と美しい水とともに」

三股町立長田小学校 木場 正浩

長田小学校は沖水川の上流、都城市と日南市を結ぶ県道33号線沿いにあり、昨年度に創立150周
年を迎えた歴史と伝統ある学校です。学校の近くには清水流れる長田峡があり、豊かな自然と美しい水
に恵まれた環境に立地しています。本校の児童数は60名です。小規模特認校なので、校区外の児童も
います。保護者も非常に協力的で、田植えや運動会で披露する棒踊りの指導などいろいろな学校行事に
快く参加していただいています。初めての教頭職を長田小で迎えることができたことに心から感謝をし
ています。

教頭として数か月が経過しました。戸惑うことが多く、教頭業務を的確に取り組むことができたとは
言い難い状況です。そんな中でも、何とかここまでやってくることができたのは、校長先生を始め、周
りの先生方から教えてもらい、支えられたおかげだと痛感しています。これからは私が支えていけるよ
うに、日々精進していきたいと考えています。

なかよくできる子 がんばりぬく子 たくましい子
を育てる「笑顔あふれるチーム長田」

「見える景色」

都城市立高城中学校 倉田 和也

教師生活7年目、初めての転勤で赴任したのが当時「高城町立」の本校だった。人懐こい生徒、同世
代で明るい同僚、頼れる先輩、毎日が新鮮でとても充実していた。あれから20年、まさかその学校に自
分が教頭として赴任するとは思ってもいなかった。その時思い出したのが、前任校の校長先生がおっ
しゃった「その立場に立って見ないと見えない景色がある。」という言葉だった。

二度目の勤務とはいえ教頭としては初任の学校。3階から見える霧島山の美しい景色は変わらなかつ
たが、職員室で私から見える景色は20年前とは全く違っていた。生徒達や先生方お一人お一人の姿、学
校全体の様子、地域の方々や保護者の方々の姿や思い、などこれまで見えなかった色々な景色が見え
てくるようになった。見える景色が変わった時、自分に何が求められ、何ができ、どんな力が必要なの
か、考えれば考えるほど難しい。だからこそ今は、今できることに全力で取り組み、自分なりの答えを
探していきたいと思う。

「自立・自立」、「感謝」、「貢献」する力を育て、地域とともにある高城

「自分にできることを精一杯」

都城市立有水中学校 西 峯 稔

東九州自動車道都城ICを下りて、国道10号線を宮崎方面へ進むと10分ほどで中学校が見えてくる。本校は、全校生徒22名の小規模校である。本年度の入学生は2名であり、昨年度からすると生徒数が10名減少し、今後を心配する声が絶えない。

そんな中学校に教頭として赴任して、約3か月が過ぎた。慣れない業務に追われ、未だに多くの先生や地域の方々に支えられている。そのため、「このままでいいのだろうか」と不安になったり、悩んだりしながら過ごす日々が続く、今に至っている。

私は、これまで辛いことや苦しいことがあると、初任者研修最終日に研修センター副所長が初任者の私たちに贈った「根明（ねあか）ニコニコへこたれず」という言葉を思い出し、色々なことを乗り越えてきた。立場が変わったこれからも、この言葉を大切にして、「自分にできること」を精一杯取り組み続け、学校や地域のために貢献していきたい。

44の瞳が輝く “笑顔あふれる学校” 有水中学校

「新任教頭として」

小林市立細野小学校 今 村 直 也

「教頭先生！」と、初めて呼ばれてから3か月。今こうして振り返る時間をいただいた気がする。8年ぶりに学校に勤務することになり、不安も大きかったが、実際始まるとそんなことを感じている余裕はなかった。学校の児童、保護者、職員のことはもちろん、PTA活動や地域の活動等、様々な業務を進めながら、日々新たな発見に感動するとともに、学びを深めているところである。

わたしが仕事をするうえで心掛けていることは、当たり前のことであるが、どんな業務も「前向きに」取り組むということである。時には、ため息が出るようなこともあるが、考え方ひとつでやる気が変わってくる。もちろん、自分一人では何もできないので、助けていただいている周りの方々に日々感謝しながら、今後も子どもたちのために、前向きに、やりがいを感じながら業務に取り組んでいきたい。

☆「支え合い」・「認め合い」・「磨き合い」みんなで創る細野小

「受け継いだ志」

小林市立西小林小学校 水 永 正 宗

「教頭先生！」と呼ばれるようになった。その度に、「水永先生！」と呼ばれて、やる気に満ち溢れ仕事に打ち込んでいた初任の頃と思いが重なる。新任教頭としてスタートしたものの、憧れて歩み始めた管理職の道は、想像以上に陰しく、厳しかった。自分の力量不足を痛感する日々が続いた。

そんな時だった。ふと校庭の「学校の木：けやき」が目に入り、気付いたら根元まで来ていた。ざらざらした大きな幹に触れ、豊かに広がる枝を見上げながら思った。ここで教頭として、このけやきを見上げていた先輩方がいたのだ。きっと、悩み、考え、懸命に、子どもたちのために力になろうと奮闘していたに違いない。今、教頭は私なのだ。自分の中で何かが変わった瞬間だった。

子どもたちの素直さ、同僚の先生方の優しさが身に染みるようになった。力を付けたい。遠い道のりではあるが、一步一步進んでいきたい。同じ「教頭」だった先輩方から受け継いだ志を胸に。

すべては子どもたちのために ～チームにっこば心は一つ！～

「地域に軸足を置いて」

小林市立細野中学校 長 野 みゆき

細野中学校は、小林市街地のやや南、霧島山系^{ひなもりだけ}夷守岳へ続く丘陵地帯にあります。近くには、桜の名所でもある「牧場」や「霧島岑神社」など、自然の美しさや由緒ある神社もあり、地域の社会的・文化的な活動がとて盛んな所でもあります。そのようなすばらしい環境にある細野中学校は、学校だけではなくまちづくり協議会や学校運営協議会をはじめとする地域と連携した学習活動を行っています。地域の清掃ボランティアや美化活動、地区の祭の手伝いなど、学校だけでは経験し得ない体験的な活動や地域の方々とのコミュニケーション活動にたくさんの学びを得ています。

このような地域に軸足を置いた教育活動は、学校の側から見ればキャリア教育につながる体験的な学習であり、地域の側から見ると「担い手づくり」、「未来の細野、小林の人づくり」につながる活動だと思えます。今後も地域と協働しながら未来につながる学びをさらに深め、地域に元気を吹き込んでいくために学校と地域の架け橋として尽力していきたいと思えます。

知恵と心と体のみがき、郷土愛にあふれ、自信と誇りをもって未来に羽ばたく細野っ子

「今山のふもとより～」

延岡市立岡富小学校 上 玉 利 禎 也

延岡市中心部、今山八幡宮のふもとに位置する岡富小学校は、今年で創立113年の歴史と伝統ある学校である。校区内には延岡駅、商店街、大型商業施設があることから人の往来も多く、活気あふれる地域である。このような環境の下、430名の児童はお大師さんに見守られながら、元気に明るく毎日の学校生活を送っています。郷土の英雄「琴恵光閔」を手本に、強く、たくましく成長するよう何事にもチャレンジする子どもたちです。ちなみに大相撲が開催される期間には、給食時に「琴恵光閔」の取組結果が毎日放送されています。多忙な教頭職ではありますが、元気いっぱいの岡小っ子とともに楽しく充実した日々を過ごしています。

児童の夢育み113年 歴史と伝統の岡富小！

「面白いには大変興味深いという意味があります」

延岡市立北川中学校 佐 保 博 光

大崩山系・ユネスコパーク、カヌーが浮いて見える奇跡の川小川、ほんの数週間だけのホテルの乱舞、今年に出現するか森のゴジラ、突然観光名所になったジブリの広場、G7で提供されたキャビアの養殖所、家田湿原、西郷隆盛陣宿、宮内庁公認の瓊瓊杵尊陵墓、パラグライダーの聖地鏡山、海拔407mの場所にある祝子川温泉美人の湯、平日も駐車場が満車になる道の駅北川はゆま。これらのほとんどの場所で北川中の生徒は体験学習を行い、ふるさとを学んでいます。みなさんはいくつご存知でしたか？実際に行ったことがある場所はありますか？ほんとに大切なものは他の人には教えたくないもの。しかし、地域の活性化は日本全国共通の課題。これらの魅力ある地域資源をどうやって子どもたちと世界に発信していくか。アーニャフォージャーに負けないくらいワクワク・ドキドキの毎日です。ぜひ夏休み面白い北川にお越しください。

北川中は徳・知・体の順番です。

「教頭になって」

日向市立日知屋小学校 野邊 千秋

提出文書やPTA関係の資料作り等に追われた4～5月上旬。慣れない仕事に嫌気がさしてきたころには「なんで教頭になったのだろう。」と自問自答の日々。ふと気付くと3カ月が過ぎようとしている。

今は時間的にも余裕が出て、教室を回って子どもたちや先生方の様子を見たり、校内の簡易な修繕や草刈りをしたりなど、これまで見て来た教頭像のような日々である。ただその時見えていなかったことが「管理職」の本来の職務。

私が最も力を入れたいのが人材育成である。担任時代に「当たり前の指導」と思ってやっていたことに疑問を感じるようになった。最適解を探し、育成に努めたい。

ひろい心でやさしい子、ちえをみがきがんばる子、やりぬくつよいからだの子

「新任教頭雑感」

日向市立富島中学校 植野 晃

新任教頭として富島中学校へ赴任して三ヶ月が過ぎました。一言で表すと「毎日が楽しい」です。

私自身、富島中学校へは3回目の赴任となります。20代に講師として、40代に教諭として、さらに今回教頭として、となりました。教師として育ててくれた本校への恩返しの気持ちを強くもって赴任し、現在もその気持ちをもって業務に励んでいます。

校舎や校舎周り、校区内の建物等、目に見える風景は変わっていませんが、生徒や先生方の様子は変わったように感じています。これが立場の違いかと、少し寂しさを感じながらも充実した毎日を過ごして、少しずつ恩返しをしていくことを目標にしています。

現在は、先生方が生徒と向き合いながら、より良い教育を行えるように黒子に徹しています。時には前に出て声を出したくなる時がありますが、生徒と直接向き合うべきは先生方だと言い聞かせながら、これからも頑張りたいと考えます。

夢のある 力のある 心のある 富島中学校

「自己管理は？」

諸塚村立諸塚小学校 黒木 俊彦

新型コロナウイルス禍の日常で誰もが在宅を強いられたこの3年あまり。昔からテレビ好きな人間なため、バラエティ、ニュース、ドラマなどさまざまな番組を観ることが普通になった。家族曰く、「テレビを観始めたら、話しかけても反応しない！人の話がはいらない！」ほどの集中力を発揮するらしい。「あれは、面白い！」という人の一言で見始めるドラマもしばしばである。また、バラエティ番組で、よくある番組のパターン「〇〇ランキング」「××がおすすめる△△△」という類のものになると、気になって、ついつい見てしまい、、、その後は自己嫌悪である。

自然豊かな山あいのこの村で、「自己研鑽のために、読書の日々」となるはずなのだが、どうなるだろう。またも誘惑に負けてしまうだろうか？？自己管理が大切なようだ。

「あいさつ日本一」をスローガンに毎朝、正門でお辞儀をして、あいさつを頑張っています。職員室から見える、立ち上る雲や霧の動きに圧倒され、思わず見入ってしまいます。

「子どものそばにすべてがある」

椎葉村立椎葉小学校 久野 智章

14年ぶりに椎葉“かてーり”の里へ戻る、しかも教頭として。さまざまな「想い」を抱き、赴任した。地域の方々、そしてかつての教え子たちから激励をいただき、ありがたい支えだと感じた。

“かてーり”とは、椎葉で語られる「相互扶助」の意を指す大切な言葉で、それは本村の誇る風土となっている。49名の子どもたちは、その素地が身に付きつつあり…ポテンシャルの塊である。

そこに本校の高き資質・能力をもつ職員が、日々の営みの中で子どものそばに寄り添ってくださり、さらにその営みを保護者・地域の方々が、高い当事者意識をもって全面的なバックアップをしてくださっている。“かてーり”の姿である。私は、教頭として与えられた役割の一つ…子どものそばに寄り添う大人たちとの「わいがや（わいわい・がやがや）」の演出をとおして、本校・本村が目指す姿の実現に向け、今日も子どものそばで、多くのことを学ばせていただいている。

地域があって椎葉小がある～
「夢いっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱい」の実現を目指して～

「田原魂」

高千穂町立田原小学校 黒田 智秀

宮崎県の北西部、高千穂町の熊本県境にある田原小。少し足を延ばせば、ユネスコパークに認定された祖母山に見守られ、雄大な自然の中で、子どもたちは生き生きと登校しています。赴任した初日、一週間後に控えた神社の春祭りの踊り練習に夜参加すると、赴任したばかりの私に、「分からないことは何でも聞いてね」「田原の仲間が一人増えたね」「なかなか筋がいいよ」などたくさんの温かい言葉をかけていただき、安心して田原小の一員となった気がしました。

とは言っても、教頭一年目の新米の私を支えてくれたのが、「田原魂」という言葉でした。みんなが来ているTシャツのマークにもなっているこの言葉。いつも家族のように温かく、みんなが一致団結して盛り上がる行事や全員が一騎当千の奉仕作業。そんな「田原魂」を胸に、地域のためにある学校を目指して、感謝の気持ちを忘れず、頼られる教頭になりたいと思います。

ひとみキラキラ こころワクワク からだグングン 田原小

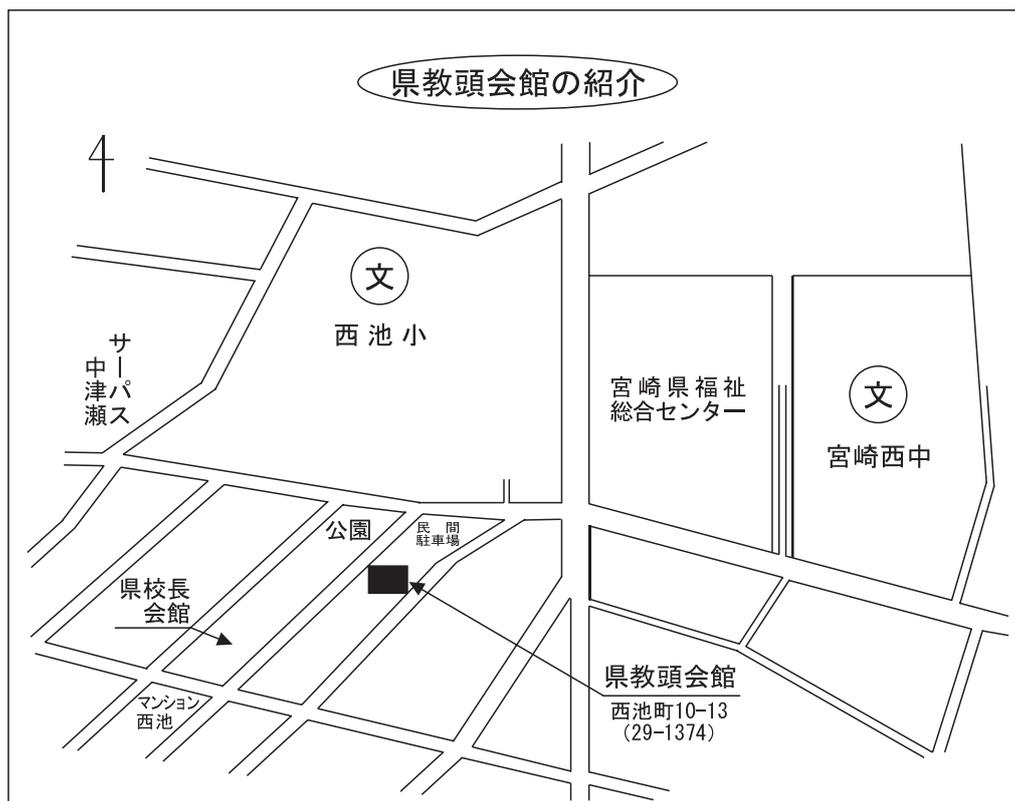
「伝統を力に」

高千穂町立高千穂中学校 赤池 英人

「高千穂中学校には『伝統を力に』という言葉があり、生徒一人一人がこの言葉を胸に日々の学校生活から一生懸命に取り組んでいます。（中略）先生方と共に新しい歴史を築いていきたいです。先生方の思いに応えられるよう、日々の生活を大切に全力で頑張ります。よろしくお願いします。」これは、新任式で生徒会長が私たち新任者を迎えてくれた言葉です。

高千穂は、神話の舞台と伝えられる地や神々を祀る神社が数多くあり、世界に誇れる「神楽」や数々の神話や伝説が語り継がれています。そんな町のことを生徒たち一人一人が誇りに思い、地域に貢献できるような人材に育成するために、本校では、生徒たちと一緒に「伝統を力」に替えながら「子供たちにとって楽しい学校」「地域に根ざす生徒」「生徒に寄り添え続ける教師」となれるよう取り組んでいます。

ともに学び、ともに鍛え、学習や学校の楽しさへの気付きの
力を育てるとともに、笑顔のある学校づくりをめざす。



編集後記

例年にも増して、異常なまでの暑さを感じる夏本番を迎え、日々苦勞しながら怒濤の校務に励む日々を過ごされているのではないのでしょうか。

今年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、従来の学校の形に戻りつつある状況ですが、気を緩めることなく感染防止対策を継続して行うことが教頭職にある私たちの責務でもあると感じています。

夏季休業中も多くの業務があり、ゆっくりと過ごす時間はありませんが、リフレッシュウィークも設定されていますので、一息ついて自分自身の時間をとりたいものです。

今年度、県教頭会広報担当となり、各支会の広報担当の先生方の協力を得て、無事に第144号が完成しました。先生方一人一人の教頭職としての想いを拝読させていただき、私自身、児童・生徒及び保護者や地域のために尽力していかなければならないと改めて考えさせられました。

最後になりましたが、随想の執筆にご協力いただいた新任教頭先生方に心から感謝申し上げます。全会員の皆様にとって有意義な夏となりますことをご祈念いたします。

令和5年7月

宮崎県公立小中学校教頭会 広報部



MVPA